



細井 公 議員
(WAKABA)

問 マンホールのカラー蓋の活用について

全国各地でゲームやアニメのキャラクターを図柄に採用したカラーマンホール蓋が増えている。マンホール蓋は設置費用も比較的少額で済む。景観のシンボルとしての効果、観光客の誘致による経済効果を考えれば導入も一案だが、いかがか。

答 先進自治体の動向を注視していく

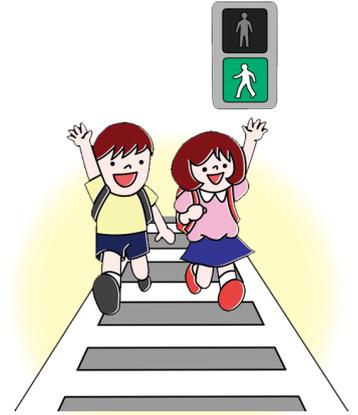
市では、下水道のイメージアップを図り関心を持ってもらうことを目的に、カラーマンホール蓋の設置やマンホールカードの作成・配布を行っている。市のPRや観光客の掘り起こしなどの活用方法については、県内自治体や先進地の動向を注視していく。

問 西地区の危険箇所への安全対策について

さいたま栗橋線の東側を通る西4丁目から西9丁目までの市道は、交通量が多く、西小学校への通学に危険が生じている。また、16m道路との交差点は衝突事故の危険がある。制限速度の低下、スクールゾーン指定、信号機の設置要望を含めた安全対策を求める。

答 ゾーン30区域内の交通安全対策を実施

市では、ゾーン30区域への指定に合わせた交通安全対策を実施した。信号機設置やスクールゾーン指定等の交通規制は県公安委員会が実施するため、市は、地域を代表する行政区長からの要望に基づき、久喜警察署を通じて県公安委員会に要望を行う。



石渡征浩 議員
(TSUNAGU)

問 子育て支援の取組について

現在、市では、都市計画道路の整備・白岡中央総合病院の移転対応・農業生産法人の誘致を推進中である。子育て支援も重要な施策であるが、それらと同時並行で進めるのか、それらが一段落した後で対応するのかの長期ビジョンを持つべきと考えるが、いかがか。

答 総合的かつ計画的にまちづくりを進める

健康・医療・福祉、子育て支援・教育、産業振興等の各種施策の間に優先順位はなく、総合的かつ計画的にまちづくりを進めている。今後も子育ての不安解消と安心して出産、育児ができる環境づくりを推進し、充実した暮らしを送れるまちの実現に取り組む。

問 フレイル予防について

フレイル* 予防のポイントは、健康なうちから始めることである。現在、上野田第一行政区では、月2回のペースで健康いきいき体操カフェを開催しているが、大人気で他の行政区からの引き合いも多い。このような取組を市内全域に広める仲介役を担ってほしい。

答 通いの場が充実するよう支援していく

既存のネットワークを活用して、地域の担い手をほかの地域の通いの場に派遣するなど、地域の交流が活性化するよう支援していくとともに、地域活動をまとめた冊子「わがまちの地域活動」をより多くのかたに周知し、地域活動の更なる情報提供に努めていく。



*身体的・精神的ぜい弱化